

パキスタン地震

AMDAが 看護師派遣

24日にパキスタン南西部を襲ったマグニチュード(M)7.7の

地震を受け、国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)は27日、緊急救援活動を行うため、看護師の岩本智子さん(29)＝倉敷市＝を現地

へ派遣した。

岩本さんは同日午前6時40分、JR岡山駅を新幹線で出発。成田空港からパキスタンに向かい、28日、被災地に入る。

AMDAは、既にインドネシア支部から医師1人を派遣。岩本さんは合流後、現地の協力団体などから情報を収集し、被災者のニーズ把握に努めるほか、

必要があれば医療活動なども行うという。10月5日に帰国予定。

AMDAなどに入った25日現在の情報によると、今回の地震の死者は少なくとも約360人、負傷者は400人を超えた。倒壊した家屋の下敷きになった人が多数いるとみられ、被害はさらに拡大する見込み。